



第6号 毎月1回発行 行所役人場 合川町集 行町集 合川編 合川町役場總務課広報係 (発行部数 2,300)

小畑知事も来町

盛況の合併記念式典

菊花薫る十一月五日、当町合併記念式典は西小学校において小畑秋田県知事をはじめ内外の来賓多数を迎えて盛大に挙行された。

定刻午前十一時、杉淵助役常治、工藤文之助、吉田嘉郎、杉淵武一郎、沢藤伊太の開式の辞によつて式は始左衛門、佐藤冬造、木村士郎、高橋万助、畠山宇三郎功労者、永年勤続退職者、町名応募当選者に夫々感謝状(表彰状、褒状)記念品の贈呈、祝電の披露、受賞者の祝辞、祝電の披露、受賞者代表(福岡与左衛門氏)の答辞があつて式を閉じたのであるが、当日表彰の栄に輝いた人々は次のとおりであつた。



畠山町長 式 辭

合併功労者(順不同)
(合併協議会委員)
正田久太郎、桜井与之助、関喜兵衛、松橋耕二、永井

本日爰に県知事殿初め来賓で式辞を述べることを得る。各位多数の御臨席を仰ぎ、したことは私の最も光榮と我が合川町の発足を記念する処であります。惟うに町村合併促進法は衆

再開町議会から

税務課新設などを可決

休会中の第六回町議会は去る三十日午前十時より西小学校に於て再開された。当局より専決処分報告がなされたあと、次の議案が提出された。いずれも原案が可決された。

▽課設置条例の一部改正する条例

▽本町を都市計画実施区域への指定申請について
なると同日議会で執行された主要なる質疑応答は次のとおりであつた。

▽関喜兵衛議員
専決処分事項の報告を伺ひしたが事情止むを得

と云ふことを御察願いたいと思ふ。

水害対策費中の食糧費については水害後各種関係機関から多くの調査団が来町したがその際の接待費などである。町で負担すべきではないとも考えられるが、そうなるに被害者個々の負担も相当に嵩むことになるので町費で賄つたのである。

▽関議員
緊急止むを得ない支払義務の生じたときに財源のないこと程苦しいことはないが、処分する物件等については今後検討を要する。才入が思わしくないときは一時借入等のことも考慮しているが、現在在は才入もギリギリの線に來ている。

▽桜井与之助議員
財事情形が非常に苦しい

小笠原与之助 佐藤庫吉、杉淵五郎、柴田勝直、松岡善吉、成田七五郎、庄司博た見られる時もある。安部松五郎、金田一蔵、藤憲一郎、斎藤新、成田源蔵、福岡与左衛門、松橋由三浦義幹、加藤理吉、福岡善治、金田藤右衛門、松橋悦次郎、金田英知、佐藤秀二

(合併事務局局長)
木村修司

▽永年勤続退職者
米倉由五郎、佐藤甚太郎、福岡与一郎、松橋房司、工藤シハ、鈴木タキ、松岡スギエ

▽町名名づけの親
藤島春松、永井恭次、米倉理智子、沢藤正二郎

議院に於て各政党の共同提案により成立したものでありまして、地方自治の本旨に則りその堅実な発展のために必然的のものであつたのであります。

両阿仁川の合流地点周辺に在る四ヶ村の合併も亦、歴史的に経済的に、又地勢的に見て必然的に成立したものであります。

四ヶ村合併促進協議会の成立後於ては委員諸賢の眞摯なる御協力を仰ぎ、

然るに、斯くして産声をあげた我が合川町は、発足の初年度において去る六月には未曾有の大水害を蒙り、今又上野野野前の大火災に遭遇したものであります。我等は和衷協同して之等の苦難を克服し、新町を育成して行かなくてはならぬのであります。

町民各位の御協力によりまして、之等の災禍を転じて福と為すことは決して至難でなしと存じます。

本町は東には本格的なる開港場を待つ大野あり、西には羽根山沢初め巨杉立する国有林地帯に恵まれ、西阿仁下小阿仁の各村は、昔か

仁川筋には肥沃なる耕地を擁し、希望ある未来を待つて居るのであります。

この新町合川建設のために幾多の事業が山積しておられますが、今後は上司官庁の御指導並びに隣接町村の御協力と、町民各位の御鞭撻によりまして、一日も早く旧村より新町への進展に努め、円満な町政執行のす。

本日、合川町の合併記念式を挙行されるに当りまして一言お祝いを申し上げます。

私は北秋田郡の出身でありまして、当地方の事情についても手にとる如く判るのであります。今日町民の皆様とその喜びを共にするとは私の心から欣快に堪えないところであります。

あらためて申し上げます。このようにして地域の発展に万全を期され、合併初期の目的を遂げるよう一段

ついでに、

課の新設については了承済であるから御参考になされた。

成田七五郎議員
課の新設と人員の増減の關係について御説明願ひたい。

町長
課の新設に伴う定員増は行わない。現在の職員数は事務量からみた場合多しと考へていないが、財政面では多いと云えぬこともない。水害、火災等の対策から職員勤務状況は相当過重になつて

町長
給与関係については天地に恥じざる人事行政をやつているので、こゝに更めて報告する要もないと思ふ。また人員整理については定員等の面からも慎重に検討したい。

町長
臨時職員については予算ともどもに併せて採用したり免じたりしていることとはある。

町長
答弁し、次回の開会は十日前後に改めて通知することとし午後〇時半散会。

(文責、広報係杉淵武一郎)



小畑知事 祝 辭

御同慶に堪えない次第であります。

願ひますと関係村はいずれも六十有余年間よく住民各位の協力と、村理事者の努力により堅実な経営を続けて今日に至つたのであります。今回の合併に際してはさぞかし感懐の深いものがあつたことと存じます。

特にこの地域は大野台といふ未開発の資源を有する地帯として知られ、これに新設の建設基本方針とさ

振興と近代工業の実現を期するならば、将来の発展は刮目して俟つべきものがあると思ふのであります。

このようにして地域の発展に万全を期され、合併初期の目的を遂げるよう一段

ついでに、

課の新設については了承済であるから御参考になされた。

成田七五郎議員
課の新設と人員の増減の關係について御説明願ひたい。

町長
課の新設に伴う定員増は行わない。現在の職員数は事務量からみた場合多しと考へていないが、財政面では多いと云えぬこともない。水害、火災等の対策から職員勤務状況は相当過重になつて

町長
給与関係については天地に恥じざる人事行政をやつているので、こゝに更めて報告する要もないと思ふ。また人員整理については定員等の面からも慎重に検討したい。

町長
臨時職員については予算ともどもに併せて採用したり免じたりしていることとはある。

町長
答弁し、次回の開会は十日前後に改めて通知することとし午後〇時半散会。

(文責、広報係杉淵武一郎)



郡町村会長祝辭

豊稷の秋の喜びに満ちております。今日の好き日に合川町合併記念式典が行われてお

私共共に町村経営の重任にある郡内町村長は眞に御同慶の至りと、この盛典を心から御慶び申上るのであります。

さて町村合併は言うは易し、実現は容易ならぬ難事であり、合川町は見事早期にこれを遂げたのであります。

ところが合併早々大水難を受け、先般はまた火難に逢われたが一向ひるまず、着々と所期の実績を上げておられるのは他町村の範として大いなる御敬意を表するものであります。私共は厚く敬意を表する次第で、全く力強く感ずるのであります。

最後に合川町の益々御発展と合併町村の指導町とならうよう祈るものであります。(郡町村会長は鷹巣町長成田喜八氏であります)

また同氏は県町村会副会長でもありますので、県郡両会長としての祝辞でありました。

たばこは合川町内で買ひましよう

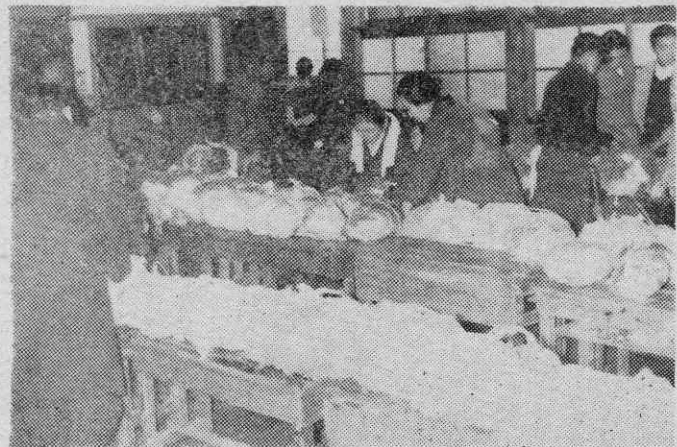
年々向上する出品物

にぎわった阿仁部農民祭

本町を会場に去る三日から六日までの四日間わたり開かれた第四回阿仁部農産物品評会は、八百五十余点という例年にみられぬ優秀な出品物の陳列で観衆の目をみはらしめたが、審査も優秀をつけがたい状態であったと云われ、近年にない有意義な結果に終わったが、晴れの受賞者一等賞十六点、二等賞二十九点、三等賞五十八点、四等賞九十点の多きに達した。

地区別出品点数、受賞点数及び種類別受賞者(二等までの分)は次のとおりである。(地名は所属農協名)

- ◎一等賞
 - ▽俵米(二点) 金 熊五郎 (本城)
 - 九島 与助 (同)
 - ▽水稲(三点) 福岡 昭二 (下小阿仁)
 - 小林 キヨ (上小阿仁)
 - 伊藤七郎兵衛(下小阿仁)
 - ▽大豆(一点) 伊藤七郎兵衛(下小阿仁)
 - ▽小豆(一点) 伊藤七郎兵衛(下小阿仁)
 - ▽甘藍(二点) 佐藤 富郎 (米内沢)
 - 佐藤 キミ (上大野)
 - 安部 運悦 (落合)
 - ▽白菜(一点) 石上 志克 (上小阿仁)
 - ▽馬鈴薯(一点) ◎二等賞



- 丹精こめた出品物の陳列会場
 - 柴田 昌作 (本城)
 - ▽大根(二点) 北林金四郎 (上小阿仁)
 - 近藤 一夫 (上大野)
 - ▽蕪工品(二点) 小林 常蔵 (落合)
 - 松岡喜久治 (同)
 - ▽葉煙草(一点) 藤島 佐市 (下大野)
 - ◎二等賞



祝賀アーチをくぐって会場へ急ぐ人々

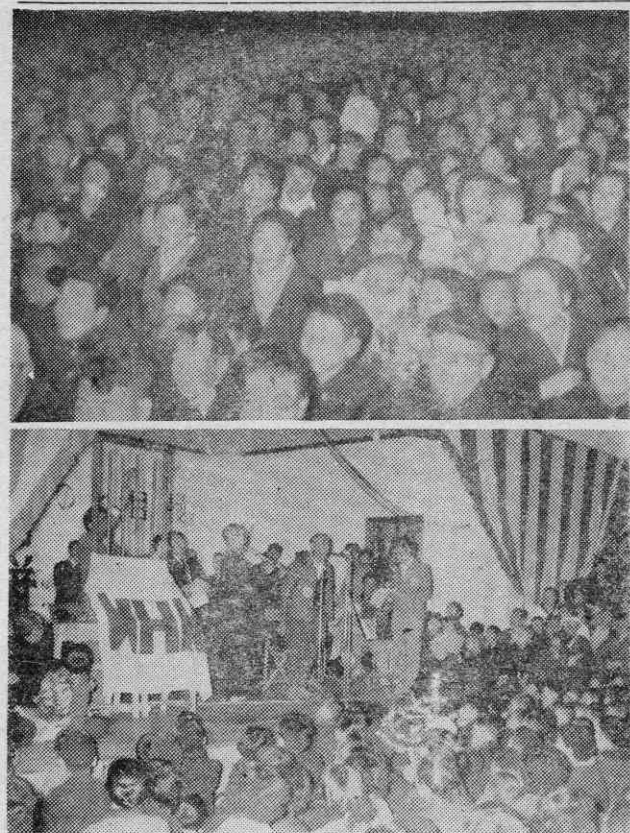
農協別	出品	点数	調査	合
仁野	煙草	9	114	114
野沢	加工品	20	112	112
大内	雑穀	14	121	14
上米	果実	2	37	8
下米	水稲	27	121	99
前大	菜	39	66	36
本落	米	3	12	4
上阿	俵	1	6	10
仁合	計	11	11	48
小阿		2	24	85
仁合		1	16	34
計		1	9	170
		1	16	54
		1	9	85
		1	34	9
		1	1	854

農協別	受賞	点数	調査	合
仁野	1等	3	29	29
野沢	2等	7	12	30
大内	3等	11	13	33
上米	4等	7	12	5
下米		1	4	19
前大		1	2	3
本落		1	2	11
上阿		3	3	31
仁合		3	3	22
小阿		3	1	6
仁合		1	5	13
計		16	3	8
		29	58	193
		58	90	

NHKの自慢

空前の人出に沸く

合併記念行事の一端として去る五日西中学校において「NHKの自慢」が催されたが当日は午後二時よりの開演にも拘らず観衆は午前十時頃から降りしきる雨にもめげず続々と会場に詰めかけ、午後一時頃には満場人々で埋まり、場内に入り切れない観衆は雨中に人垣を築く有様で、当時(いや旧村?)始つて以来の人出であり、実に四千人を超える盛況であった。



人々々々…超満員の会場と「カネ三つの瞬間」

アンコールに代えてNHK側でも特に出演回数を増加して観衆の応援にこたえるなど、拍手の嵐の中に午後五時半熱演の幕を閉じたので後藤伊之助(同)、栗島町(同)があるが、当日の合格者(鐘佐藤モト(同)、三浦甚四郎(同)、三木田川井)

- ▽白菜(一点) 藤島 新一 (下大野)
- ▽馬鈴薯(二点) 近藤喜代美 (米内沢)
- 桜庭 幸一 (下小阿仁)
- ▽甘藍(一点) 藤島 幸一 (下大野)
- ▽大根(二点) 工藤 チチ (上大野)
- 近藤政之助 (同)
- ▽果実(一点) 工藤 哲男 (米内沢)
- ▽農産加工品(一点) 成田 優子 (落合)
- ▽蕪工品(二点) 松岡 ミヨ (落合)
- 三浦アイ子 (下小阿仁)
- ▽菜豆(一点) 佐賀滝四郎 (上大野)
- ▽葱(一点) 金 晃咲 (本城)
- 葉煙草(二点)
- 九島 一夫 (米内沢)
- 九嶋 竹治 (同)
- ◎三等賞 成田 友蔵 (落合)
- 外五七点
- ◎四等賞 藤嶋 幸一 (下大野)
- 外八九点
- (多数のため氏名省略)

火の戀しい時期

火の元にご用心

そろそろ火が恋しくなり、頼まれていたところからは火鉢、ストーブその他の火災が起る筈はない。火器が使われ出すと共に、火災予防と環境整理の関係を以てのシーズンがやってくる。そこで火災シーズンを前にして注意すべき事項を二、三考えてみよう。

①火災予防と清掃、整頓
空室は玄関の乱雑な家を狙うといわれているが、火災の場合同じで、日常火をくすくす取り出す時期になって、これ風呂場等常に清掃され、整

結婚式は簡素堅實に

……新生活運動の手はじめ……
形式よりも精神面の強化を

結婚式の秋、結婚のシーズンがやってくる。今年こそは新生活運動の手はじめに、簡素化の簡素化、集中し、一切の無駄を排除するよう努めたいものだ。

毎年々々の季節になると決つた行事のように結婚の簡素化について新聞に、ラジオに報道される割合に、実際が伴わない原因はどこにあるのだろうか？

それを考えると次のことなどがその実行を阻害しているようだが……

(一)封建的な家族制度が存続しているため、家柄とか格式にとらわれすぎてい

(二)結婚する娘さんの自覚が、まだまだ足りない。最後のだから一品でも多く貰

山ある。

合川A組が優勝
阿仁部青年会駅伝競走は五日に挙行されたが、参加五チームは折からの雨をついて力走を続け、阿仁町大阿仁農協前(合川西中学校間)のコース六十五キロを走破したが、成績は次の通りであった。

一位 合川A
二位 大阿仁
三位 米内沢
四位 合川B
五位 阿仁合

もしも皆さんこれからは時間の迷惑かけぬよう秋田時間をなくすため互いに時間を守りましょう

もしも皆さんこれからは適度に貯蓄もするためにお酒の集り簡素化し暮しのむだを省きましょう

もしも皆さんこれからは蚊や蠅を退治してみんなが健康に気をつけよう住みよい環境作りましょう

新生活運動の歌
(兎と亀の替歌)

町民の聲

あなたと共に
住みよ、働きよ、合川町の
建設。これが町政の
モットーです。

広報第五号で或る町民の方「町民の聲」欄に「農業団体の統合を急げ」と題して意見の発表がありまして、この問題について各関係団体より意見を求めたところ、原稿締切りまでに次の方から寄稿がありましたので紙上に掲げて関係者からの回答と致しました。

農業協同組合の合併について

正田 参良

一 農業団体は自主的に統合せよという適切な御意見に対し関係者の一人としていさゝか私見を述べてみたい。

只今国内に於いては農業団体再編成の問題がいろいろ論議されているが、これは国の農村支配体制の構造に關することであるので、農業協同組合の合併という問題に限定して考えてみることにしたい。

体である。これを発生史的に見ると、資本主義企業の発展に伴って資本的に劣弱な農業が商業資本の農村支配に對してとらなければならぬ自衛態勢であつたのである。故に農業協同組合の経済団体として資本的結合があると同時に、それ以上に精神的結合でなければならぬのである。

現在、農業はあまねく農民の結集体として一応その形を整えているが、農業協同組合の本来的使命を十全に果たしているとはいへない。それは、その組織が、確かに適正規模の地域の広さを有していないことと、大きな原因の一つである。

この資本主義経済機構の中に於いては、総ての企業が冷徹な資本主義の法則に制約されておることは言はば俟たないところであつて、農業協同組合も例外たることを許されないのである。

唯農業協同組合は、御承知のとおり農民の生活協同組合である。この点に於いては、他の企業とは異なる。農業協同組合は、農民の自己防衛と、農業協同組合の発展という精神的要素が加はることによつて、

百万の味方を得ているともいふ。このことについては、各農協、特に不振農協といわれる農協に於いて速急なる経営合理化の対策が講ぜられることが必要となつて来るといふ。

農民の自己資本造成のため、農協は生産農民自身の利益を守る為に組織されているものであるから、農民から見離されてしまえば、もはやその存在意義を失つてしまふことになる。

第一の理由は、農協の経営内容が夫々異つておる。理解を得て自己資本造成が必らずしも業績が上がるばかりで、金利負担も軽減され、農協の経営内容は漸次合理化される。

合併を急ぐ理由として、農協自身の持分の優劣と、農協自身の協同意識の欠けて現われること、各農協の組合員がどれだけの利益を得るかに依る。

私はこう考える

農業団体の統合整備について

私にはこう考える

話が進んでおるのであるが、体制を整えて収支のバランスをとり、何れかという貸付金の回収、売掛金、棚卸資産の回転率の向上に努めること、これは、やむを得ない理由がある。

合併を急ぐ理由として、農協自身の協同意識の欠けて現われること、各農協の組合員がどれだけの利益を得るかに依る。

程農協を自分のものとしておられるかという疑問におられる例がしばしばある。その端的な例として系統機関外の利用をあげることでございよう。

農協は生産農民自身の利益を守る為に組織されているものであるから、農民から見離されてしまえば、もはやその存在意義を失つてしまふことになる。

第一の理由は、農協の経営内容が夫々異つておる。理解を得て自己資本造成が必らずしも業績が上がるばかりで、金利負担も軽減され、農協の経営内容は漸次合理化される。

合併を急ぐ理由として、農協自身の協同意識の欠けて現われること、各農協の組合員がどれだけの利益を得るかに依る。

慰霊祭偶感

民生課 N・Y生

今月初旬、東西南北の地区別に慰霊祭が行われた。従来は村の主権が恒例となつてきたと思われ、いつまでも当局に依存するのは如何なものかとボツボツ遺族達の手で執行して

遺族達の手で執行して、もよほすか、尤も町当局が主催でやるべきだとの意見もあつた。この頃、今回の主催は合川町遺族会という事になったのだが、

遺族達のあいだには「読経なら、祝詞奏上なりが済んだら、しるべき方の宗意もあつた。この頃、今回の主催は合川町遺族会という事になったのだが、

遺族達のあいだには「読経なら、祝詞奏上なりが済んだら、しるべき方の宗意もあつた。この頃、今回の主催は合川町遺族会という事になったのだが、

遺族達のあいだには「読経なら、祝詞奏上なりが済んだら、しるべき方の宗意もあつた。この頃、今回の主催は合川町遺族会という事になったのだが、

短歌 火災

駅前 佐々木みや子

〇 貫い火と云えど駅舎を焼きたればその重責に夫はやつれぬ
〇 上大野駅の防火に夫行けば早くも火の手は家に迫りぬ
〇 はり戸より火は入り来れど人手なく一人荷造る手のおのきよ
〇 煙のため意識乱れるわが耳に早く出れよと夫の声する
〇 鎖切り足にまつわり逃ぎ道をわれに教える犬のかしこさ
〇 家焼かれ寄居なきわが為に部屋借し呉れし中村ドクター
〇 目を経れば火災の噂消えゆけど罹災者吾等の思い深まる

狩獵のシーズン

とつてよい鳥とわるい鳥

今年もまた狩獵期に入った。だがこの楽しい狩獵も勝手気取にやることは禁ぜられて、狩獵には「狩獵法」という法律があつて、秩序ある狩獵が行われるように定められてある。その一部を述べてみよう。

① 狩獵期間
北海道を除き、十一月一日から翌年三月十五日まで(昨年と同様)であるが、キジ、コウライキジ、ヤマドリは十一月一日〜一月十五日、アナグマ、オスイタチキツネ、タヌキ、テン、ムササビ、リスは十二月十五日〜二月末日までとなつて、日によって注意しなければならない。

② 狩獵免許状の交付
免許状は次の二種類に分けて交付される。
甲(銃器以外を使用)
乙(銃器を使用)
いずれも居住地在を管轄している林業事務所(当町の管轄は北秋田林業事務所一鷹巣町)で取扱つて、前年同様交付手数料は前年同様百円である。

③ 狩獵登録票の交付(空気銃使用)
空気銃を使用して狩獵する場合も、狩獵期間免許状と全く同じ適用を受けることになるのであるが、今年からは所轄警察署で所轄許可を受け、更に林業事務所で狩獵登録票の交付を受ける。注意しなければならないのは、また狩獵登録票の手料は五〇〇円で、その他税金等は梅田百合子、長助孫 同

原稿募集!!

本紙では広く紙上を解放し、直に町民各位の広報にたいして原稿を募集しております。次の規定により振つて御投稿下さい。

- 一、論文、町民の聲、随想、詩、短歌、俳句、川柳、コント、小中学生作文など、いずれでもよく、紙上における匿名は御自由ですが、原稿には必ず職業を明記して下さい。
- 二、締切日別に設けさせていただきます。
- 三、宛先は役場総務課広報係へ。
- 四、その他原稿は一切お返しいたしません。また規定に反したものは採用しないことがあります。

原稿の取捨は係へ一任願います。

- ### 慶弔だより
- (自一〇、一九)
- 〔出生の部〕
- 松田友子、勇三長女東根田
 - 金森秋雄、菊治三男西根田
 - 佐藤加津子、育蔵長女東根田
 - 松橋秋弘、兵吉孫 大内沢
 - 金田牧子、末吉孫 西根田
 - 森岡まき子、吉正長女東根田
 - 原 治人、金治長男 川井
 - 木村家司子、栄治孫 弥栄
 - 高橋昭子、重治郎長女下杉
 - 佐藤戸美子、芳郎長女川井
 - 佐々木稔、長三郎二男川井
 - 杉淵祐子、養吉孫 木戸石
 - 小笠原千鶴子、千代治長女
- 〔死亡の部〕
- 松井正、千代吉三男 福田
 - 福岡ヨコ、石五郎母 摩当
 - 金田貞一郎、鉄治父西根田
 - 松田恭二、陽二男東根田
 - 永井マツ、倉治母 上杉
 - 松橋勝太郎、本人 道城
 - 佐々木鎮、信二男 大野
 - 木村スミ、長之助妻 李岱
 - 藤岡留吉、フミ夫 羽立
- あしがき
- 農繁期御苦労様でした。未曾有の豊作だと喜んでいたので今月に入つての悪天候には全くお手上げの態である。
- この悪天候が揃いつていくらかの収入減となつた農家もあると思う。農家も秋空がうらめし、変り易い秋空がうらめし。
- 合併記念式典が終つてホッとしたと思つて、今度は県の「財務視察」が十七日から二十一日までである。
- 果のエリア人が四、五人で赤字に喘ぐ町財政を視察するのださうだが、これを機に黒字財政になるような妙手でも教えてくれるとよいが。
- 上旬に人事異動が行われ、税務課が新設された。税務機構強化独立である。これに伴つて徴税対策も強力に実施される模様だ。
- 督促の発行、滞納者への督促の整理にテンヤワンの悪質者は強制処分を執行されることも予想される。執行されることも予想される。執行されることも予想される。
- 何となく滞納のない明るい町にしたいものと思ふ。
- もう森吉山をはじめ遠い山々に雪が降つている。冬までには間があるというものの、今から環境を整理して来るべき冬になよう。
- では町民の皆さん、来月またお目にかかりましょう。お元気で……